

令和5年度 学校評価実施報告書

幼稚園名（明徳幼稚園）

教育目標

心豊かに 生き生きと たくましく しなやかな心をもつ
子どもを育む ～自ら学ぶ力、自ら律する力の育成～

年度末の最終評価

自己評価	教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価		
最終評価		

（1）幼稚園教育（保育の改善・充実）について

具体的な取組

- ・園庭に、ごっこ遊びを通して友達や異年齢のつながりや対話が生まれるような環境をつくる。
- ・子どもたちが思わずやってみたくなる環境や様々な動きを引き出せるような環境をつくったり、教師も一緒に遊ぶ中で体を動かして遊ぶ楽しさや気持ち良さに共感したりする。
- ・明徳小学校と授業参観や保育参観、子ども・教職員同士の交流の機会を設け、“対話”という共通のキーワードをもとに話し合うことで、育ちの共有や接続を図っていく。
- ・試したり工夫したりして遊べるように、材料や用具の量を豊富に用意したり、ドキュメンテーション等で共有し、試しが広がっていくようにしたりする。
- ・異年齢での活動を継続的に取り入れ、言葉で伝えたり、相手に伝わる伝え方を考えたりする経験が積み重なっていくようにする。
- ・一人一人のありのままの表現を認めたり、クラスで取り上げ、友達の表現の良さに気付けるような機会をもったりすることで自信につながっていくようにする。

（取組結果を検証する）各種指標

- 日々の子どもの姿についての情報共有、記録、事例研究による子どもの変容、週案の反省・評価、

教育課程の見直し

- アンケート項目「子どもは、自分でしたい遊びを見つけて楽しんでいる」「子どもは、園内の自然環境を遊びに取り入れて楽しんでいる」

中間評価

各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
	学校関係者による意見・支援策
学校関係者評価	

(2) 架け橋期の教育の充実に向けた幼保小連携・接続について

具体的な取組

- ・“対話”を幼小の共通の視点として、互いの保育や授業を見合い、協議を深めていく。
- ・年長組と1年生との交流をする中で、教師同士の事前や事後の話し合いをする機会を設け、互いの教育について理解を深める。
- ・架け橋期のカリキュラム作成に向けて、協議・検討していく。

(取組結果を検証する) 各種指標

- 近隣の小学校へ発信した幼稚園通信での反応、小学校の授業参観・研究授業の参観
- 架け橋プログラムでの協議
- 架け橋期のカリキュラムの作成についての進捗状況
- 読書ノート「親子で絵本！」の活用度を定期的に点検、把握、改善

中間評価

各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
	学校関係者による意見・支援策
学校関係者評価	

(3) 預かり保育について

具体的な取組	
・未就園児3歳児クラスの子どもについて、安心感が持てるよう、子育て支援、預かり保育両担当の引き継ぎ時の連携を密に図る。	
・担任と預かり保育担当教員が心身の状態について引継ぎ、緊密に連携をとる。	
・時期や季節に応じた玩具や遊びの環境を整え、子どもが安心して、ゆったりとした気持ちで充実して過ごすことができるようとする。	
・早朝預かり保育での環境構成の在り方について担当教員と連携しながら充実を図っていく。また制度の地域への周知を図る。	
(取組結果を検証する) 各種指標	
○預かり保育参加人数	
○預かり保育の中での子どもの姿や教師のかかわり。	
○アンケート項目「子どもは預かり保育に喜んで参加している」「子どもは預かり保育の遊びを楽しんでいる」「預かり保育は保護者にとって有効である」など	

中間評価

各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
	学校関係者による意見・支援策
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

(4) 子育ての支援に関して

具体的な取組	
・未就園児3歳児、1～2歳児それぞれのクラスの内容や回数の見直し、充実していく。	
・未就園児クラスと在園児クラスとの交流の機会をもち、園の教育への理解や発信につなげる。	
・異学年の交流を大切にし、安心して過ごしたり、刺激をもらったりしながら生活や遊びが充実できるようする。	
・保護者の子育てに対する不安や悩みなどを丁寧に受け止め、共に具体策を考え、保護者の安心につなげる。	
(取組結果を検証する) 各種指標	
○子育て支援事業への登録、参加人数の推移。	
○子育て支援の取り組みの回数や参加人数、教育相談件数。	
○保護者の意見。	

中間評価

各種指標結果

自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
	学校関係者による意見・支援策
学校関係者評価	

（5）地域とのかかわり（社会に開かれた教育課程）について

具体的な取組
・畑の先生に栽培物の植え方や育て方を教えてもらったり、岩倉地域自然アドバイザーに地域の生き物について教えてもらったりすることを通して、自然に关心をもてるようになるとともに、地域の方とつながる喜びを感じられるようにする。
・学校運営協議会「どんぐりーず」、PTA、おやじの会と連携し、保育の充実に生かす。
(取組結果を検証する) 各種指標
○地域との交流の内容や回数。運営協議会理事、PTA、地域の方の意見 ○京都岩倉自然学習アドバイザーのお力による取り組みの充実と、子どもの変容、研究の充実。 ○アンケート項目「学校運営協議会「どんぐりーず」と参画する行事は子どもたちにとって良い経験となっている」「学校運営協議会「どんぐりーず」に子どもたちも親しみをもっている。」など

中間評価

各種指標結果

自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

最終評価

	（中間評価時に設定した）各種指標結果
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
	学校関係者による意見・支援策
学校関係者評価	

（6）教職員の働き方改革について

重点目標
○教職員の業務内容・勤務時間を意識し、改善点を明らかにし、教職員の連携を密に図り、校務支援員を有効活用しながら、働き方改革を推進する。
具体的な取組
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員全体での連携の元、校務支援員を活用しながら仕事の効率化を図り、働き方改革を推進し、教育の充実、教職員の健康保持増進を図る。 ・会議の精選・効率化、ペーパーレス化、行事の内容や業務の分担の見直しと効率化、超過勤務の短縮。 ・電話対応時間を18時までとする。 ・水曜日をノー残業デーに設定し、実現する。
（取組結果を検証する）各種指標
<ul style="list-style-type: none"> ○校務支援員を初めとする教職員間の連携により改善できた業務内容。 ○教職員の超過勤務時間の実態把握や年休取得率。

中間評価

各種指標結果

自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

最終評価

	（中間評価時に設定した）各種指標結果
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策